

令和3年度 和木町教育委員会 自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

教育施策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要である。大項目について、地教行法に規定している点検・評価の対象となる教育委員会の権限に属する事務は、教育長に委任された事務を含むことから、「2 教育委員会が管理・執行する事務」と「3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に整理している。中項目については各市町村共通の事務と考えられる。小項目については必要に応じて設定している。評価は実現度を4段階評価で評価。

大項目		中項目	小項目	点検・評価
1 教育委員会 の活動	(1)教育委員会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	→ 実現度	定例会を12回開催。
		②教育委員会会議の運営上の工夫	→ 実現度	会議終了後に議題以外の教育上の諸問題や新しい情報について意見交換を行った。
	(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	○議事録の公開、広報・公聴活動の状況	→ 実現度	ホームページに簡易な議事録を掲載。
	(3)教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	→ 実現度	月1回開催している主管長会議や、事務局を含む各出先機関での朝礼等により連携する。
	(4)教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	→ 実現度	月1回開催されている庁内会議に、教育長と事務局長及び園長が出席。 平成27年度より首長部局主宰の総合教育会議に教育委員と教育長及び事務局長が出席。
	(5)教育委員会の自己研鑽	○研修会の参加状況	→ 実現度	県主催の教育委員会教育長・委員会議は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 市町村教育委員会研究協議会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 二市一町教育委員情報交換会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	→ 実現度	こども園・小学校・中学校を訪問は新型コロナウイルス感染症対策のため時間や人数を制限して訪問。 運動会・文化祭等は新型コロナウイルス感染症対策ため来賓として保護者の人数を制限し、学年等で時間を分けて実施。 入学式・卒業式等は新型コロナウイルス感染症対策ため来賓として保護者の人数を制限して実施。	
	②所管施設の訪問	→ 実現度	年間を通し最低限の訪問。	
2 教育委員会 が管理・執行する 事務	(1)教育行政の運営に関する基本方針を定めること		→ 実現度	令和3年度和木町教育方針を策定し、主管長に周知指導し、関係者には冊子を送付し指導徹底した。
	(2)教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること		→ 実現度	8月「和木町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正」、「和木町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例を一部改正」、「和木町立和木こども園管理運営規則の一部改正」、11月「和木町ICT教育推進基金条例の制定」、12月「和木町子ども・子育て支援法施行細則の一部を改正」、2月「和木町立和木こども園管理規則の一部を改正」
	(3)教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		→ 実現度	9月定例会 教育委員会委員の任命同意(1件)
	(4)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること		→ 実現度	令和3年度無し
	(5)教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること (県費負担教職員の任免を除く)		→ 実現度	令和3年4月の人事異動に際し、企画総務課に職員の内申を行った結果、その意向が概ね反映された。しかし年度の途中で職員が1人削減されたため、これについては納得できるものではなかった。
	(6)県費負担に係る校長の任免その他の人事の内申に関すること		→ 実現度	令和3年4月の人事異動に際し、山口県教育委員会に職員の内申を行った結果、その意向が反映された。
	(7)教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること		→ 実現度	社会教育委員の委嘱(令和3年4月1日～令和4年3月31日)、地域学校協働活動推進員の委嘱(令和3年4月1日～令和4年3月31日)教育支援委員会委員の移植(令和3年10月1日～令和5年9月30日)、和木町子ども・子育て会議委員の委嘱(令和4年1月14日～令和5年5月22日)
	(8)校長、教員その他研修の一般方針を定めること		→ 実現度	小中学校の特別研修は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。 例年、講師を招いてICT研修を年3回実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインでの実施となった。 和木町教職員研修会を例年3回実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策のため1回となった。
	(9)和木町奨学基金条例による奨学生の決定に関すること		→ 実現度	令和3年度第3回教育委員会議において1名を奨学生に決定した。
	(10)教科用図書の採択の決定に関すること		→ 実現度	7月 一昨年度の教科用図書検定審査において不合格であった「自由社の『新しい歴史教科書』」が、再申請により昨年度、文部科学大臣の検定を経て新たに発行されることとなり、無償措置法施行規則により採択替えを行うことも可能であることから、自由社を加えて8つの発行者の教科書を調査研究した上で、採択替えなどについて協議したが、採択替えは行わず、引き続き同じ教科書を使用することとした。
	(11)文化財を指定し、又は指定を解除すること		→ 実現度	令和3年度無し。
	(12)請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関すること		→ 実現度	和木町向学支援事業の検定助成項目に「TOEFL」を追加して欲しいと町長への提言があり、協議の結果「5月1日から助成対象に追加することとなりました。」と5月広報にて回答した。 子どもたちの遊び場について、小学校では「ジェイボードをする」ことが問題になっています。それは、ジェイボードをする場所がないからだと思います。専用の場所を作れば問題が解決すると思います。と町長への提言があり、「特定の遊具を対象とした専用の遊び場を作るだけの余裕スペースがありません。だからといって、道路で遊ぶのは危険です。みんなが決まりを守れる和木っこであって欲しいと願っています。」と6月広報にて回答した。 ※質問及び回答は要約
3 教育委員会 が管理・執行を 教育長に委任する 事務	(1)目標	「わきあいあいと学ぶ(アクティブ・ラーニング)学校教育の推進 ※(施策の柱 ② ③ ④が対象)	→ 実現度	詳細は教育年報にて報告
		「緑の風薫る文化のまち和木町」を支える生涯学習環境の整備 ※(施策の柱 ③ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩が対象)	→ 実現度	
		「尊師親愛生」の教育風土醸成の推進 ※(施策の柱 ① ⑤が対象)	→ 実現度	
	(2)基本方針	地域の特色を生かし、学校・家庭・地域の教育機能の活性化と教育力の向上に努めます。 ※(施策の柱 ①が対象)	→ 実現度	
		知・徳・体のバランスのとれた「未来に輝くたくましい和木っ子」を育成するために、学校教育活動の工夫・充実に努めます。 ※(施策の柱 ② ⑤が対象)	→ 実現度	
		郷土の自然や歴史・文化にふれあう活動・体験を重視し、ふるさとを愛する心の育成に努めます。 ※(施策の柱 ⑨が対象)	→ 実現度	
		生涯学習社会の構築を目指して、心豊かなコミュニティづくり・人づくりに努めます。 ※(施策の柱 ⑥が対象)	→ 実現度	
		信頼関係を大切にし、尊師親愛生の精神の啓発と浸透を図ることができるように努めます。 ※(施策の柱 ⑤が対象)	→ 実現度	
	(3)施策の柱	①地域の特性を生かした特色ある教育活動の工夫	→ 実現度	
		②確かな学力を形成するための取組の工夫	→ 実現度	
		③豊かな心を育むための取組の工夫	→ 実現度	
		④健やかな体を育成するための取組の工夫	→ 実現度	
		⑤教職員の資質を高めるための研修等の工夫	→ 実現度	
		⑥豊かな心を育む生涯学習の推進	→ 実現度	
		⑦心ふれあう社会教育の推進	→ 実現度	
		⑧活力ある町民の体力づくりの展開	→ 実現度	
		⑨地域文化の継承と創造	→ 実現度	
		⑩地域社会における人権教育の推進	→ 実現度	
		⑪和木学園構想の推進	→ 実現度	

総 合 評 価

学識経験者の評価 1 令和3年度和木町教育委員会、自己点検・評価シートについて (1)「令和3年度 和木町教育委員会 自己点検・評価シート」は適切に評価がされています。評価項目も教育行政全般に及び、バランスもとれています。 (2)大項目1(4)において、教育行政において首長や町民の意見を聞くことは重要です。一方で、政治や宗教に中立であること、教育内容への政治的介入についての境界はどこか、等教育委員会は適切に判断することが求められます。 (3)大項目2において、諸問題が適切に処理されていると判断します。 2 教育方針の点検・評価について (1)コロナ禍の影響で当初の事業が展開できず、項目によっては評価が低い一因となっていると推察します。 (2)コロナ禍がしばらく収まらないものと予想して、次年度、各事業の目標達成をどう図るか、さらなる工夫が求められます。特に社会教育は主要事業の実施が困難であるため、社会教育が求められているねらいを町民にどのように伝えるかを、考えることが大切です。	学校重点目標 支援員等の活用が図られ、きめ細やかな指導がされています。 園小中の連携に工夫が必要です。(p2、1 地域の特性を・・・)から 3 その他
---	--